

施設園芸・植物工場展 2020 (GPEC) 開催要領

1. 名 称 施設園芸・植物工場展 2020 (GPEC)
Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference
2. 会 期 2020年7月15日(水)～17日(金)
開場時間 10:00～17:00
3. 搬 入 2020年7月13日(月)～14日(火)
4. 搬 出 2020年7月17日(金) 閉場後～22:00
5. 会 場 Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)
(愛知県常滑市セントレア5丁目10番1号)
6. 主 催 一般社団法人 日本施設園芸協会
7. 後 援 農林水産省、経済産業省、愛知県、(一社)全国農業協同組合中央会(JA 全中)、
全国農業協同組合連合会(JA 全農)、農林中央金庫、(一社)全国農業会議所、
(公社)全国農業共済協会、(株)日本政策金融公庫 (順不同、申請予定)
8. 共 催 アテックス株式会社
9. 協 賛 愛知県農業協同組合中央会、愛知県経済農業協同組合連合会、
オランダ王国大使館、イスラエル大使館経済部、駐日本國大韓民國大使館、
千葉大学 園芸学部、農研機構、(一社)園芸学会、JA 包装園芸資材協会、
植物工場普及振興会、スマートアグリコンソーシアム、
(一社)全国農業改良普及支援協会、全国農業高等学校長協会、
全国農業資材商業会、全国農業大学校協議会、(一社)全国肥料商連合会、
全国野菜園芸技術研究会、NPO 法人 地中熱利用促進協会、
日本園芸農業協同組合連合会、(一社)日本花き卸売市場協会、
(一社)日本花き生産協会、(一社)日本果樹種苗協会、(一財)日本 GAP 協会、
(一社)日本経済団体連合会、(一社)日本種苗協会、
(一社)日本植物工場産業協会、日本生物環境工学会、(一社)日本土壌肥料学会、
(一社)日本農業機械化協会、(一社)日本農業機械工業会、日本農業気象学会、
(公社)日本農業法人協会、(一財)日本花普及センター、日本ばら切花協会、
日本ビニル工業会、日本肥料アンモニア協会、(一社)日本有機資源協会、
日本養液栽培研究会、(一財)日本立地センター、(株)農協観光、農業施設学会、
農業データ連携基盤協議会、(一社)農業電化協会、農薬工業会、
(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター、
野菜流通カット協議会、青果物選果予冷施設協議会 (順不同、申請予定)
10. 展示規模 国内外 230 社・団体 325 小間 (目標) 会場面積: 10,000 m²

11.出展小間料金

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ① 会員 | 297,000 円(税別)／1 小間(3m×3m) |
| ② 非会員 | 333,000 円(税別)／1 小間(3m×3m) |
| ③ 海外企業・団体 | 288,000 円(税別)／1 小間(3m×3m) |
| ④ 角小間指定料金 | 50,000 円(税別) |

※会員とは(一社)日本施設園芸協会の会員を指す。

※野菜流通カット協議会および青果物選果予冷施設協議会は協力団体であるため、「流通・加工」特設ゾーンへの出展に限り、両協議会会員は上記会員料金を適用。

12.出展対象分野・製品

【1】施設本体・資材

- (1) ハウス・太陽光利用型植物工場（栽培施設・資材）
ハウス本体、ハウス構成部材・部品、保温・遮光資材、
外張・内張フィルム（農ビ、農PO、フッ素フィルム、硬質板 など）、
防虫・防風・防獣ネット、防草シート、被覆材構成部材・部品
- (2) 人工光型植物工場（栽培施設・資材）
植物工場本体、植物工場本体構成部材・部品

【2】付帯設備・機器

- (1) 施設園芸用
カーテン装置、局所加温装置、冷・暖房装置（自然エネ利用型等含む）、
自然換気・強制換気装置（天窗、側窓、谷窓、妻窓、換気扇、循環扇など）、
光合成促進装置（炭酸ガス発生装置 など）、灌水・散水装置、
防除・土壌消毒装置（動力噴霧機、無人防除機 など）、果樹棚装置、
養液栽培・養液土壌栽培装置、栽培ベッド、ファインバブル発生装置、
栽培ベンチ装置、補光装置（電照装置を含む）、収穫機器・運搬資材、
ハウス清掃用品・洗浄機、その他 付帯設備・機器・装置
- (2) 植物工場用（太陽光利用型・人工光型）
光環境装置（LED、蛍光／冷陰極／無電極ランプ など）、
給排水処理プラント装置、空調システム、栽培ベッド、栽培ベンチ装置、
収穫機器・運搬資材、その他 付帯設備・機器・装置

【3】生産管理機器・資材

- (1) 種苗、育苗資材、育苗システム
種子・種苗、接木・育苗関連資材、生育状況観察システム、播種機、鉢 など
- (2) 肥料、農薬、受粉・天敵昆虫、I P M
有機質・無機質肥料、液体肥料、植物活性剤、土壌改良剤、土壌診断サービス、
殺虫剤、除草剤、ミツバチ、天敵昆虫・生物、消毒剤、消毒サービス など
- (3) 農業 I C T
I o T、A I、クラウドサービス、生産管理システム、栽培管理システム、
遠隔監視システム、端末機器、ビッグデータ解析技術 など
- (4) 環境制御装置・技術
光量・温度・湿度・CO₂・風量センサー、土壌成分計測システム、
養液管理システム、その他各種センサー、
タイマー、計測・制御システム、自動機器 など

【4】特設ゾーン

(1) 流通・加工

計量機、梱包機、選果機、選別機、洗浄機、異物検出・除去装置、包装機器・資材、搬送器具、搬送機械、温度管理システム、流通システム、集出荷施設、集出荷機器・資材、予冷施設・機器、貯蔵庫・施設、乾燥機、加工施設、加工機器・資材 など

(2) リース・融資、経営サポート

リース業、金融機関、経営管理ソフトウェア／アプリ、6次産業化プランナー、観光農園事業コンサルタント、その他農家向けサイドビジネス(自家発電・売電事業、アフィリエイト) など

【5】その他の関連展示

(1) 省力化・サポート機器

アシストスーツ、サポートウェア・機器、自動化機器・ロボット(播種機、施肥機、収穫機、箱詰め機) など

(2) 災害・熱中症対策

気象情報受配信システム、熱中症対策資材、除雪機・融雪資材、強風対策、施設補強部材・資材、停電対策、共済制度 など

(3) 防犯・セキュリティ

監視カメラ、防犯装置、警報装置、農薬保管庫、ネットワークセキュリティ など

(4) 自治体・団体

自治体、海外大使館、次世代施設園芸拠点、その他の農業関連団体 など

(5) メディア・書籍

新聞社、出版社、インターネットメディア など

(6) 大学・研究機関コーナー

施設園芸・植物工場に関連する大学や研究機関、団体の研究成果や取り組み など

【6】主催者コーナー(特別展示)

(1) 日本型大型(1ha)モデルハウス

(2) 生産者相談コーナー

(3) 政府・公的機関情報コーナー

13.出展対象企業等

施設園芸・植物工場向け資材・機器メーカー、苗・種・育苗関連資材メーカー、農業・運搬機械・農具メーカー、計測・検査機器メーカー、システム・IT関連企業、各種商社、コンサルティング、自治体、団体、メディア、大学・研究機関 など

14.併催行事

- (1) 主催者セミナー *聴講無料
 - 行政機関・団体による施設園芸、植物工場の施策、今後の推進策
 - 有識者・研究機関による収量拡大・品質向上技術の紹介
 - 先駆的生産者・専門家による収益向上策の紹介
 - 諸外国等の施設園芸の現状と将来展望について など
- (2) 出展者プレゼンテーション *聴講無料、開講費用は別途有料
 - ：出展者が機器・資材・技術を紹介できるセミナー など
- (3) 開会式
 - ：主催関係者・後援機関代表者によるテープカット など
- (4) 出展者交流会
 - ：出展者および後援機関、関係者による交流会

15.来場目標 40,000 人

16.来場対象 農業生産者・参入希望者（法人・個人）、
植物工場事業者・参入希望者（法人・個人）、農業団体、
農業関連資機材商社等（農材店 他）、農業資機材関連メーカー、
国・自治体、流通関係者、食品メーカー・外食産業、一般・学生

17.入場料 1,000 円（税込、来場登録制、招待券持参者・Web 事前登録者無料）

以上